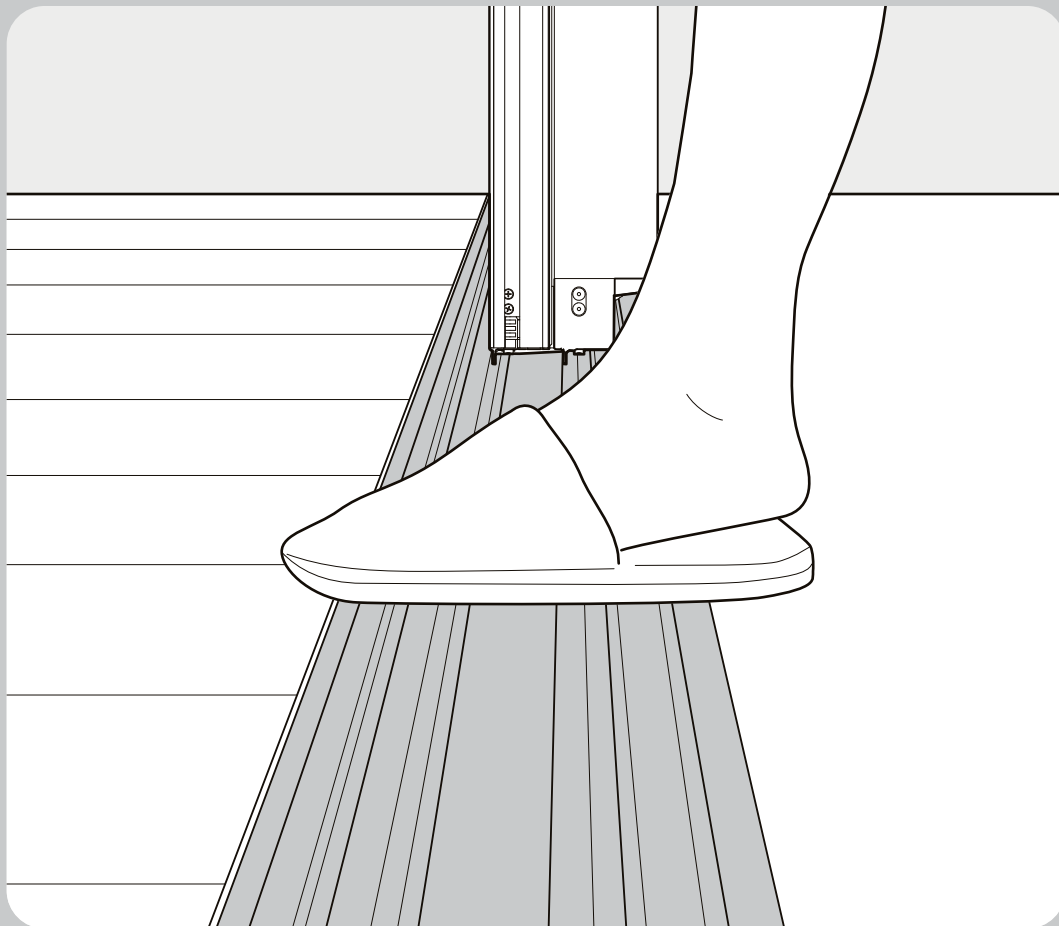


引違い窓(フラットタイプ)

取扱い説明書



ご使用にあたって

- この取扱い説明書を読んで理解するまでは「引違い窓(フラットタイプ)」のご使用およびお手入れを行わないでください。
- この取扱い説明書は、ご使用中にご不明な点や、お手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保存してください。

目次

■目次	1
■重要なお知らせ	1
■安全について	2
■安全のため特に注意していただきたいこと	2・3
注 意	2
お願い	3
■下枠のお手入れ方法	4～14
■サッシのお手入れ方法	15～16
■商品保証について	17

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために必ずお守りください。

「引違い窓(フラットタイプ)」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

もし、この取扱い説明書に従わず、乱用または誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものとさせていただきます。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。従って、「引違い窓(フラットタイプ)」のご使用および、お手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.この取扱い説明書についての質問または、より詳しい情報が必要な場合は、以下の窓口に連絡してください。

問い合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	 0120-413-433

安全について

※この章では、「引違い窓(フラットタイプ)」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

警告用語の種類と意味

- この「取扱い説明書」では、危険度の高さ（または事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。

以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意 味
▲注 意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

安全のため特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

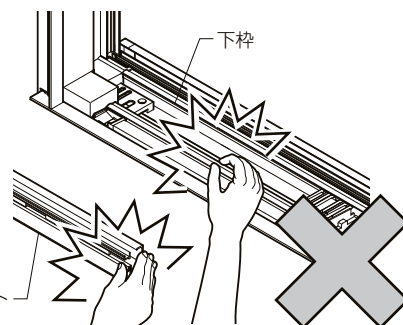
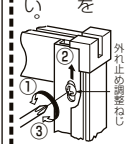
▲注 意

- お手入れなどのために障子を外した後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従って外れ止め部品を必ずかけてください。
4枚建て・TW WOODの場合は、内障子を建込む前に外れ止め部品をかけてください。外れ止め部品が正しくかかっていると、障子が窓枠から外れて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。
- 窓・網戸の開閉は、周囲に人がいないことを確認し、引手やハンドルを持ちゆっくりと行ってください。指などの身体を挟まれケガをするおそれがあります。
- 指を挟んだり、思わぬケガや事故につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・窓(網戸)の開閉時に、窓(網戸)と枠、窓(網戸)と窓(網戸)のすき間に手や足を置かないでください。
 - ・窓の操作部品や、可動部品のすき間に手や足を置かないでください。
- 風の強い時は窓を閉め、必ずロックしてください。
ロックしないと、風の力で窓が急に開閉し、その衝撃で破損や落下が起こり、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。
- アタッチメントのカドや下枠内部の部品に直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

表示ラベル例

▲注 意

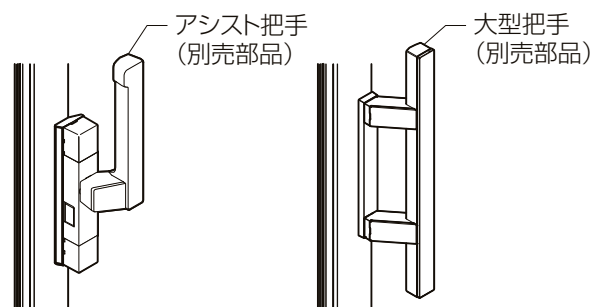
外れ止め調整ねじを上げすぎると障子が落下するおそれがあります。①ねじを2回転ゆるめ、②障子の開閉に支障のない範囲で上げ、③締め直してください。



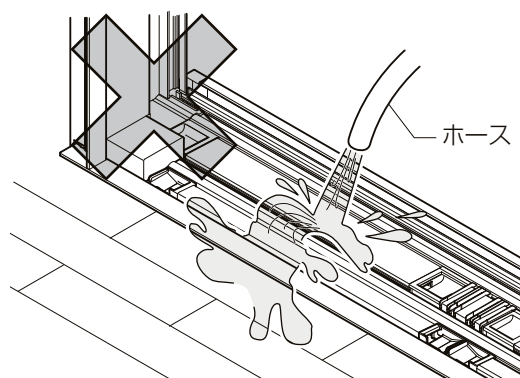
お願い

- ボルト・ナット・ねじなどは絶対にゆるめないでください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。

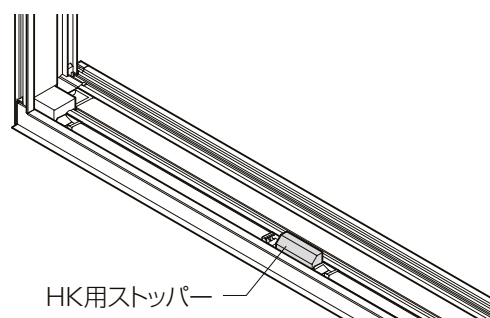
- 障子のハンドル、把手に物を掛けたり、ぶら下がったりしないでください。



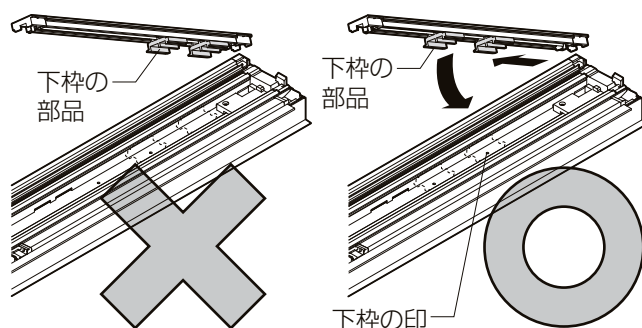
- 下枠を水で洗い流す際には、室内へ水があふれ出ないようにしてください。あふれ出したときは、ぞうきんなどで速やかに拭き取ってください。



- HK・HKK用障子のHK用ストッパーは、取り外さないでください。



- 車椅子などのご使用による振動や清掃で下枠の部品がずれた場合は、下枠の印（マーク）に合わせて元の位置に取付けてください。ずれたまま使用すると、つまずきのおそれがあるほか、製品が破損する原因になります。



- ご使用前に点検して異常があれば操作を中止し、工務店さま・販売店さままたは当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

- 製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

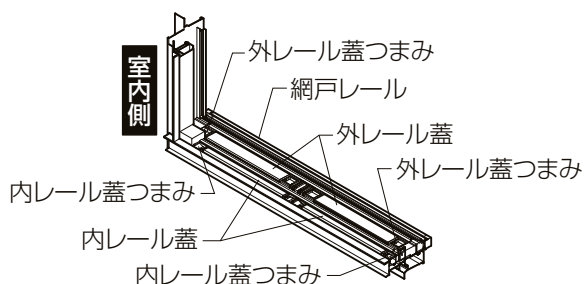
下枠のお手入れ方法

- 日常は、サッシの下枠表面を拭くだけできれいになります。ただし、下枠上の水がたまったまま排水性が悪くなったときは、ホコリがたまっている場合がありますので、下記の手順に従ってレール蓋を取り外し、清掃を行ってください。

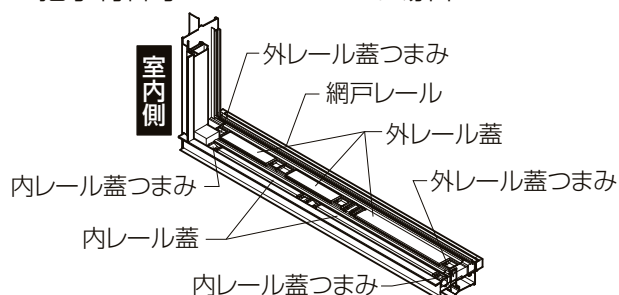
1

2枚建ての場合

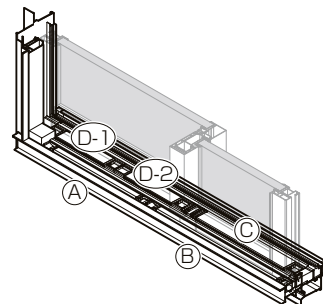
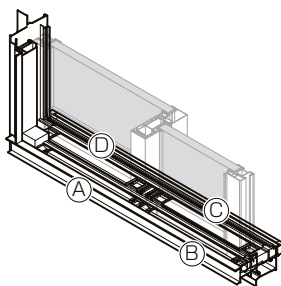
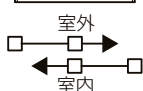
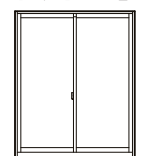
■各部名称図



※把手付障子・TW WOODの場合



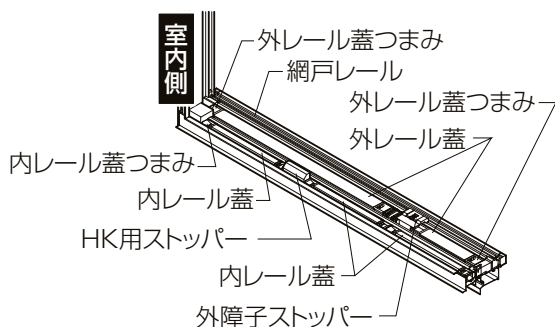
■取外し手順



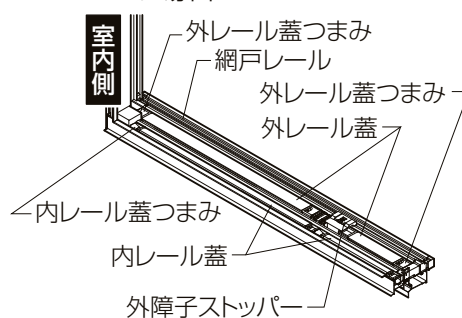
HKの場合

※本図はR勝手を示します。L勝手は本図と左右対称になります。

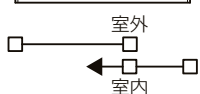
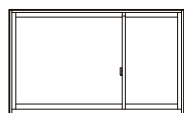
■各部名称図



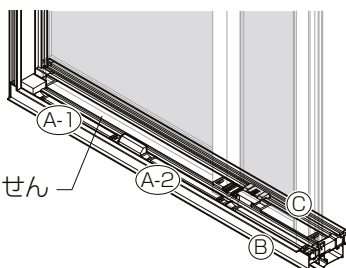
※TW WOODの場合



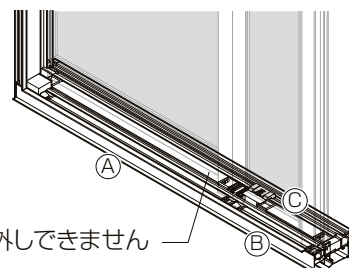
■取外し手順



取り外しできません



取り外しできません



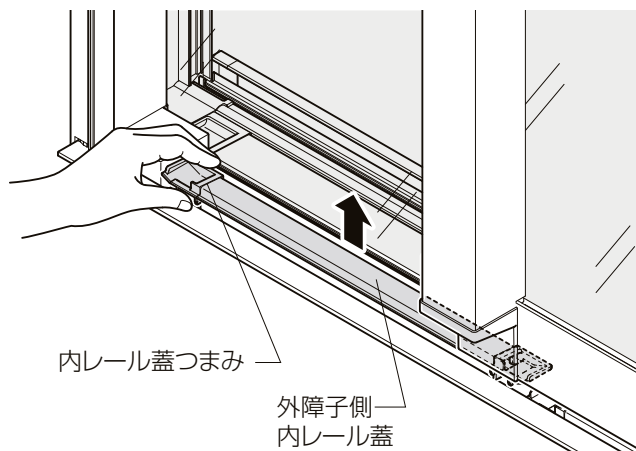
- 内レール蓋・外レール蓋を外して清掃します。

⚠ 注意

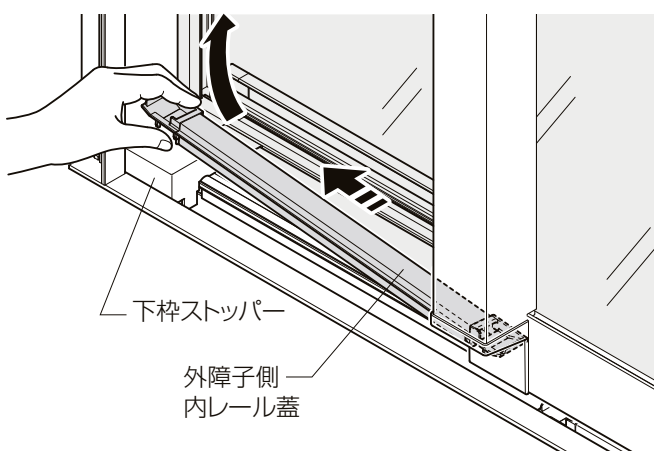
- アタッチメントのカドや下枠内部の部品に直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

①図のように外障子側の内レール蓋つまみを持って、上に持ち上げながらスライドして外してください(A部)。

●内レール蓋を持ち上げます。



●下枠ストッパー側にスライドさせながら外します。

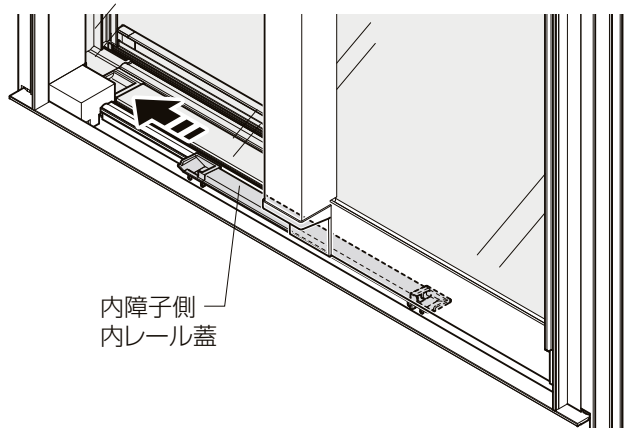


お願い

●無理に持ち上げるとつまみが破損したりキズの原因になります。上記方法にて外せない場合は無理に外そうとせず、工務店さま・販売店さままたは当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

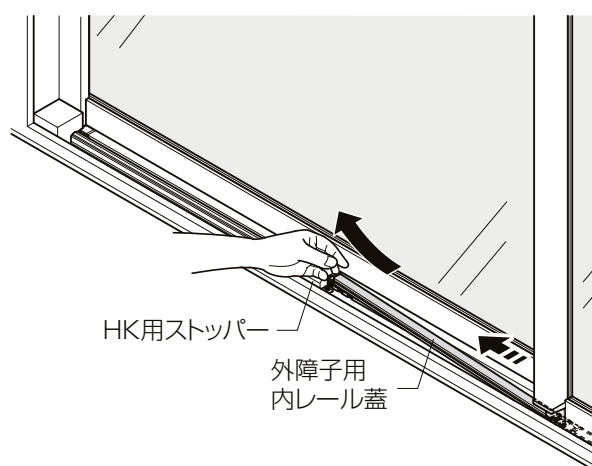
②内障子側の内レール蓋を外障子側にずらして同様に外します(B部)。

●2枚建て

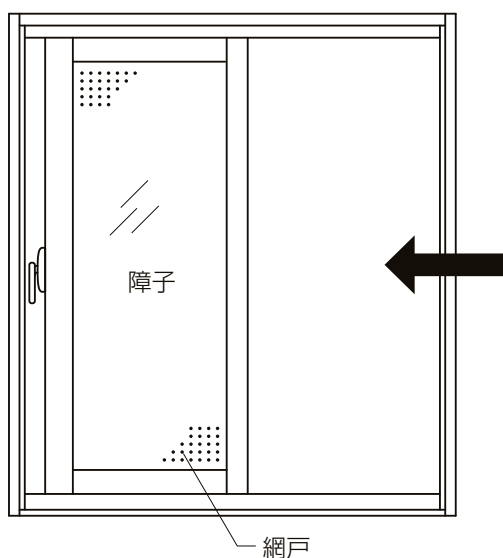


●HK

※HKではHK用ストッパー側にスライドさせながら外します。



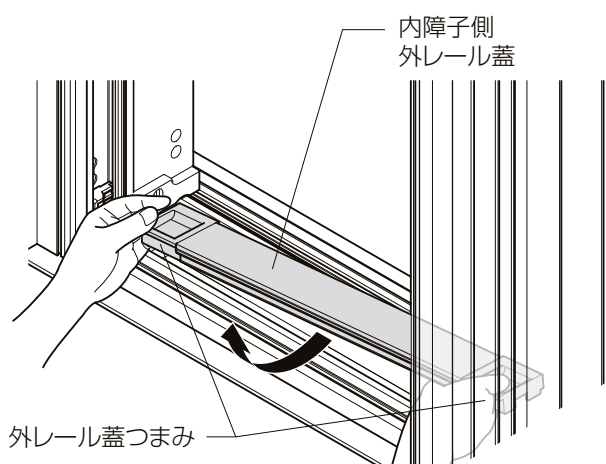
③内障子を全開にしてください。



④図のように外レール蓋つまみを持って、上に持ち上げながら手前に引いて外してください。(C部)(D部)。

●内障子側の外レール蓋を外します(C部)。

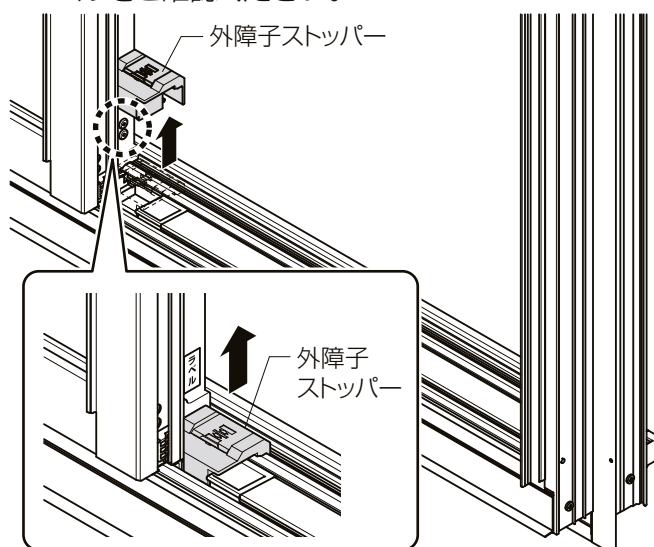
●2枚建て



●HK

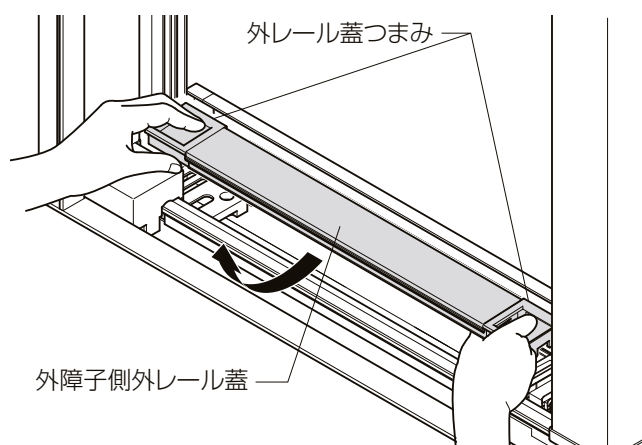
※HKでは、外障子ストッパーを外してから外レール蓋を外してください。

※外障子ストッパーの外し方は、縦部材に貼付のラベルをご確認ください。

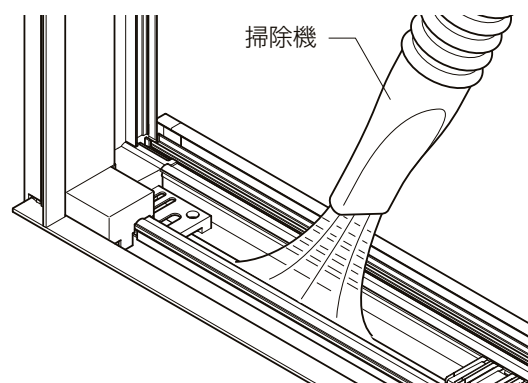
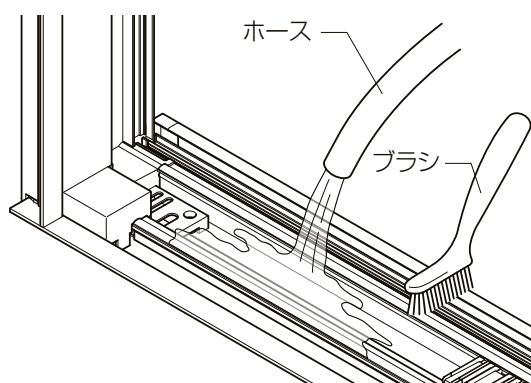


●外障子を全開にして外レール蓋を外します(D部)。
(2枚建てのみ)

※HKでは、外せません。



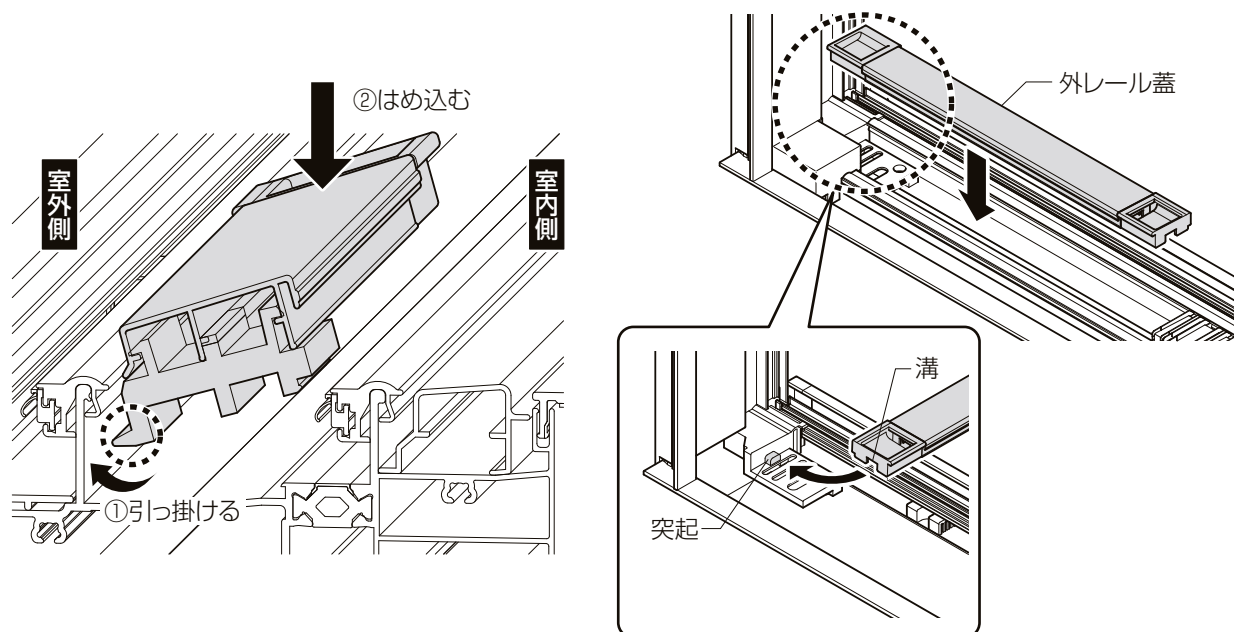
⑤水やブラシで洗い流すか、掃除機で吸込み、下枠の中のゴミやホコリを取り除いてください。



⑥外したレール蓋を外した手順と逆の手順で取付けてください。

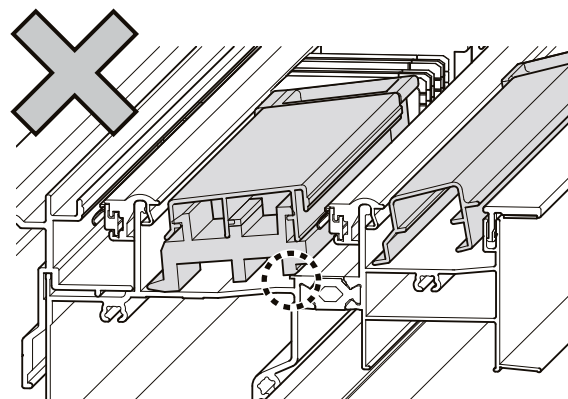
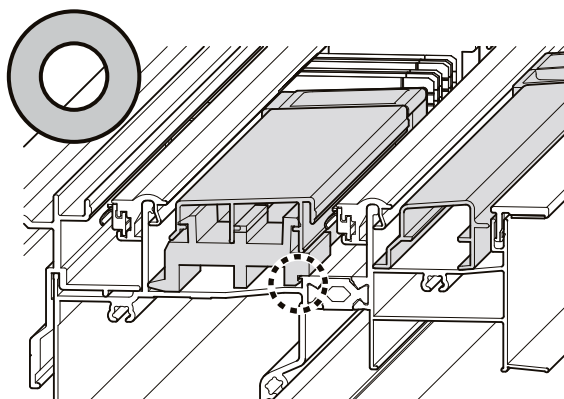
・外レール蓋の向きを間違えないように取付けてください。

※「カチッ」と音がするまではめ込んでください。



お願い

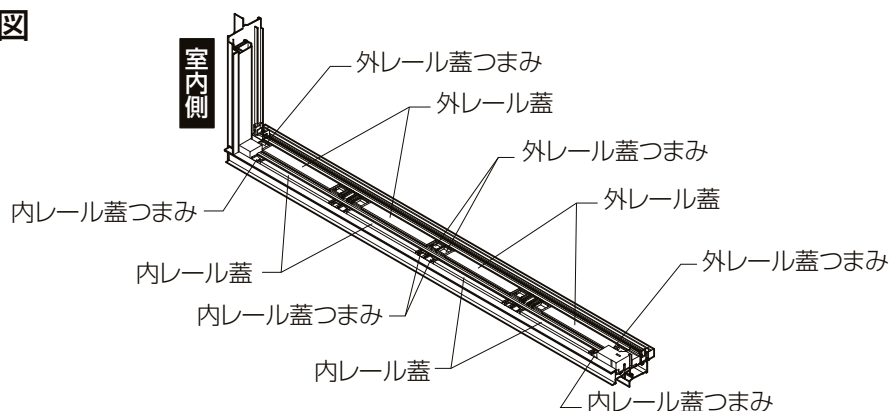
●レール蓋を取付ける際は、段差のないようにしてください。開閉時に支障が出ます。



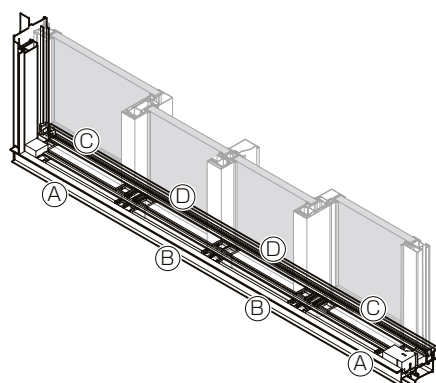
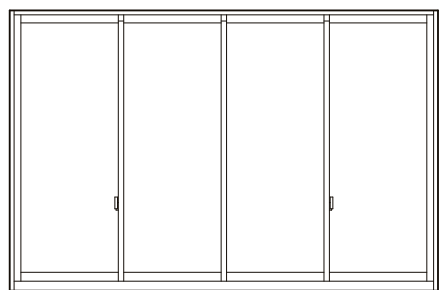
2

4枚建て・TW WOODの場合

■各部名称図

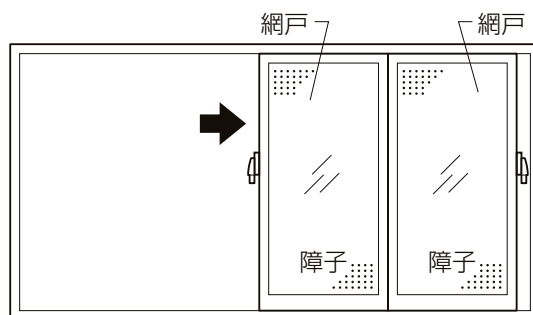


■取外し手順



- 2枚建て同様、内レール蓋・外レール蓋を外して清掃します。

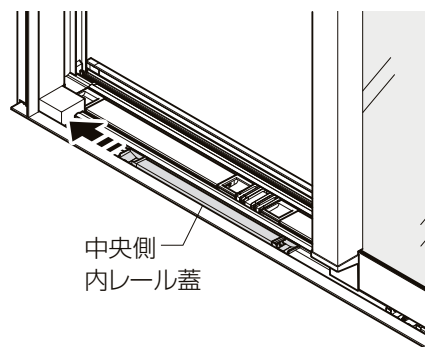
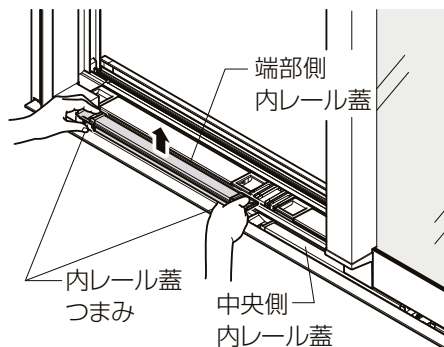
①障子をすべて片方に寄せてください。



②障子を開けた側の内レール蓋つまみを持って外してください(A部)(B部)。

- 端部側の内レール蓋はそのまま上に持ち上げます(A部)。

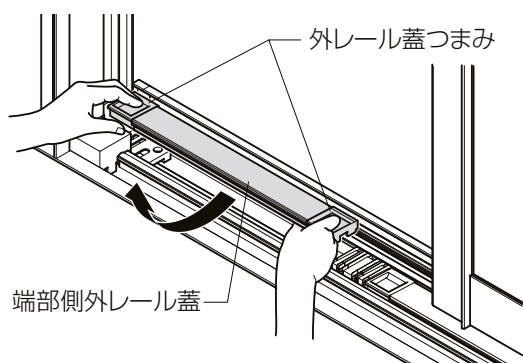
- 中央側の内レール蓋は端部側にスライドさせて同様に外します(B部)。



▲ 注 意

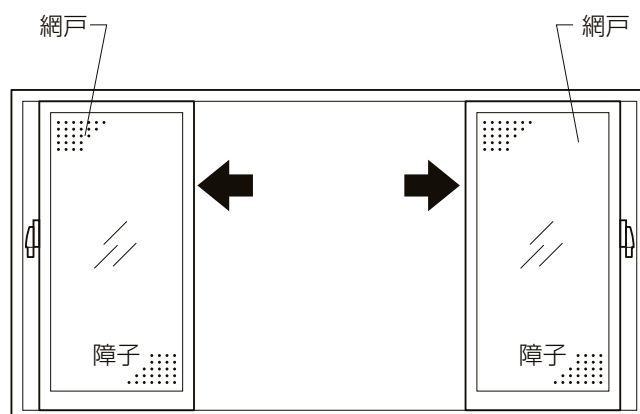
- アタッチメントのカドや下枠内部の部品に直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

- ③端部側の外レール蓋つまみを持って、上に持ち上げながら手前に引いて外してください(C部)。

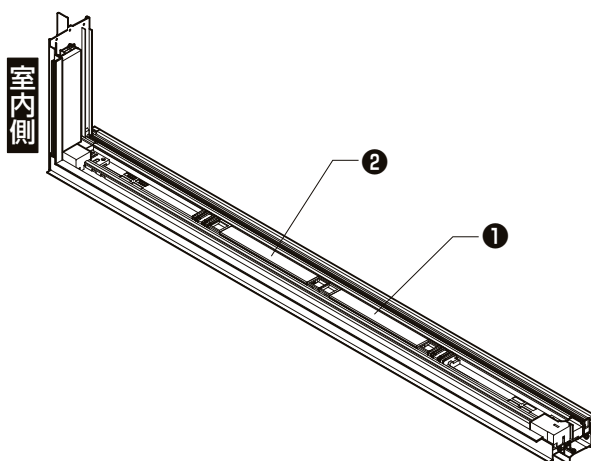


- ④障子をすべてもう片方に寄せてください。
⑤もう片方の内レール蓋・外レール蓋も同様に外してください(A部)(B部)(C部)。

- ⑥中央(突合わせ部)の障子を全開にしてください。

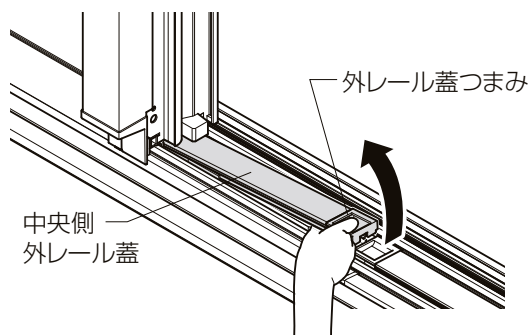


- TW WOODの場合は、
外レール蓋を右記順番で
取り外してください。

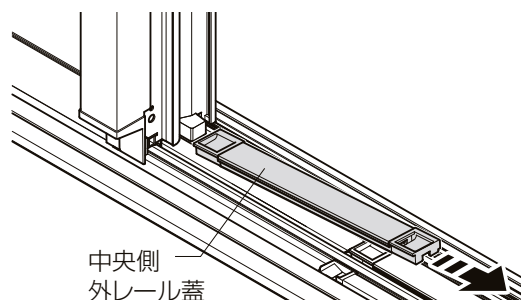


- ⑦図のように中央側の外レール蓋つまみを持って、上に持ち上げながらスライドして外してください(D部)。

- 外レール蓋を持ち上げます。



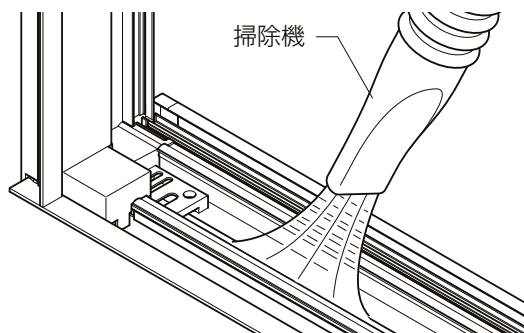
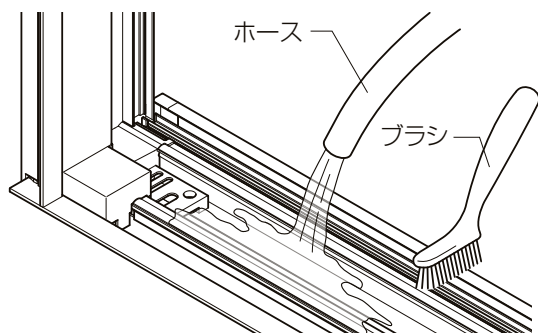
- スライドさせながら外します。



お願い

- 無理に持ち上げるとつまみが破損したりキズの原因になります。上記方法にて外せない場合は無理に外そうとせず、工務店さま・販売店さままたは当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

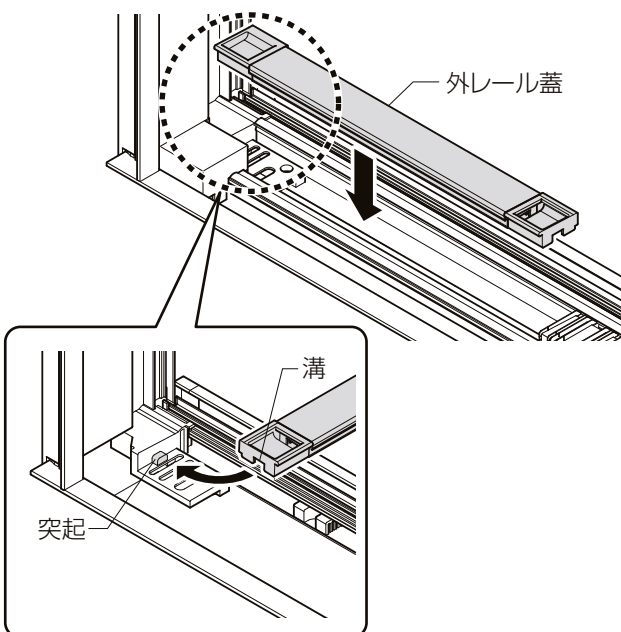
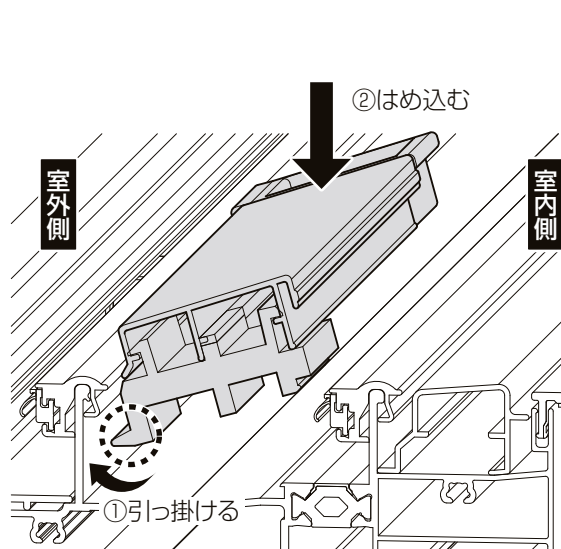
⑧水やブラシで洗い流すか掃除機で吸込み、下枠の中のゴミやホコリを取り除いてください。



⑨外したレール蓋を外した手順と逆の手順で取付けてください。

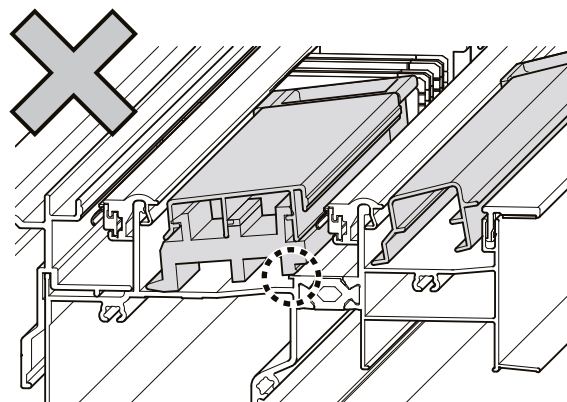
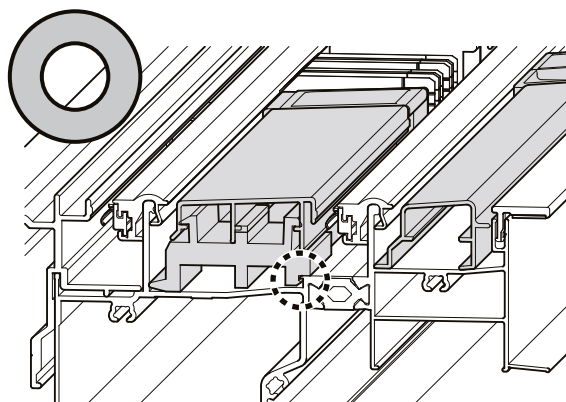
・外レール蓋の向きを間違えないように取付けてください。

※「カチッ」と音がするまではめ込んでください。



お願い

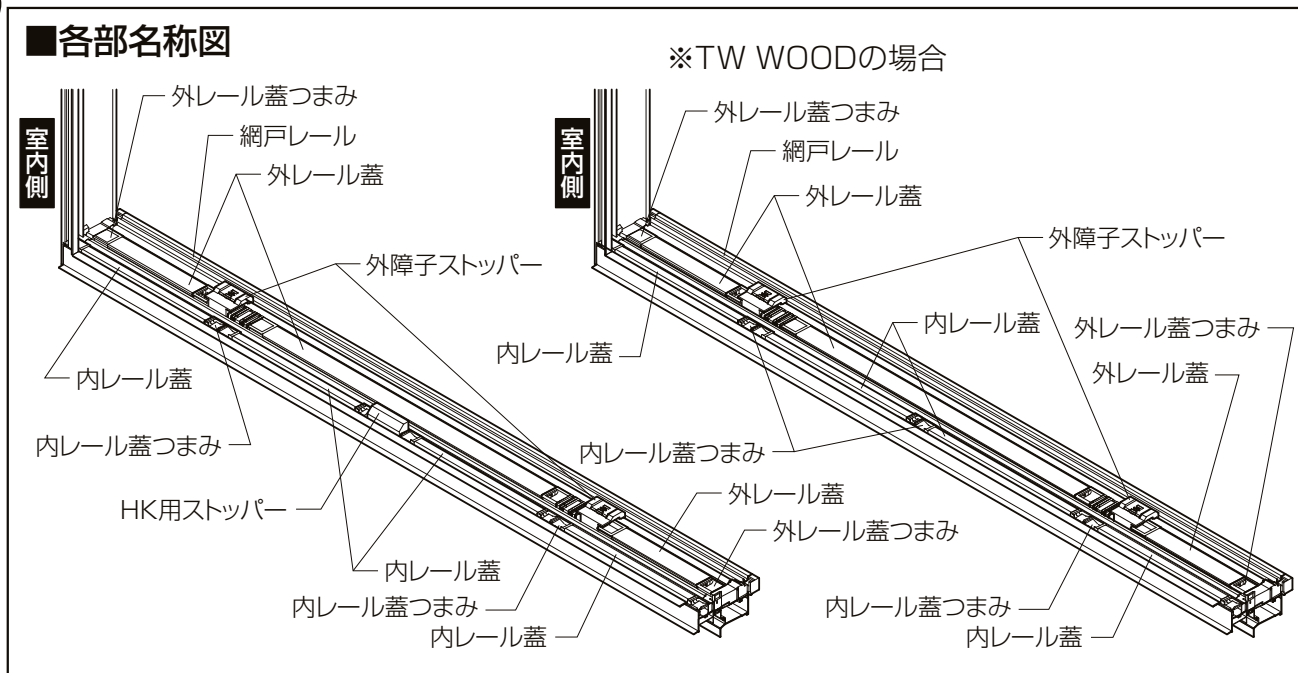
●レール蓋を取付ける際は、段差のないようにしてください。開閉時に支障が出ます。



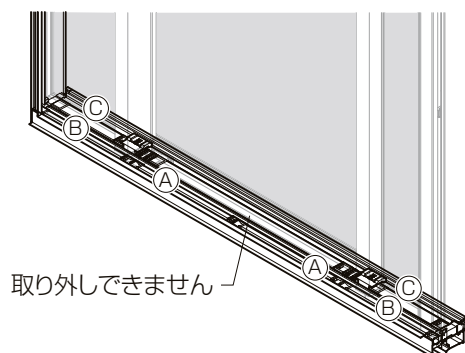
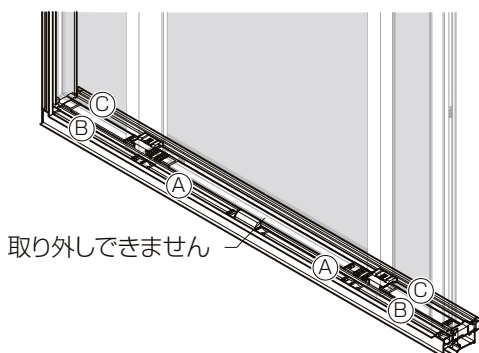
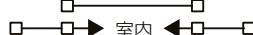
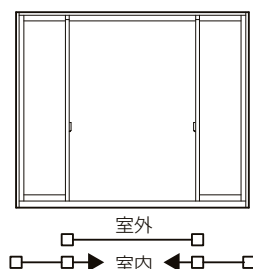
3

HKKの場合

■各部名称図



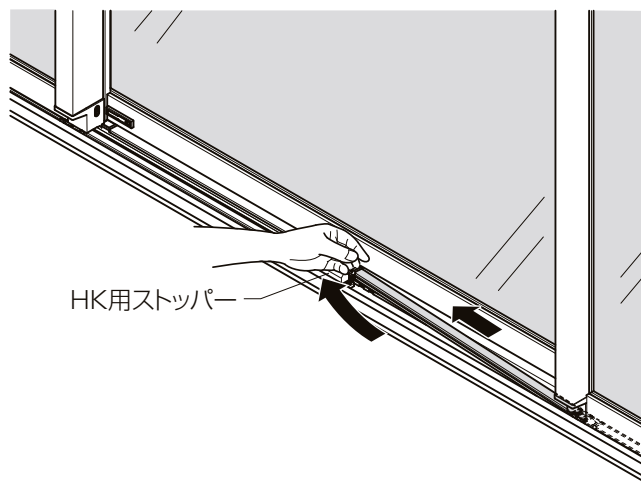
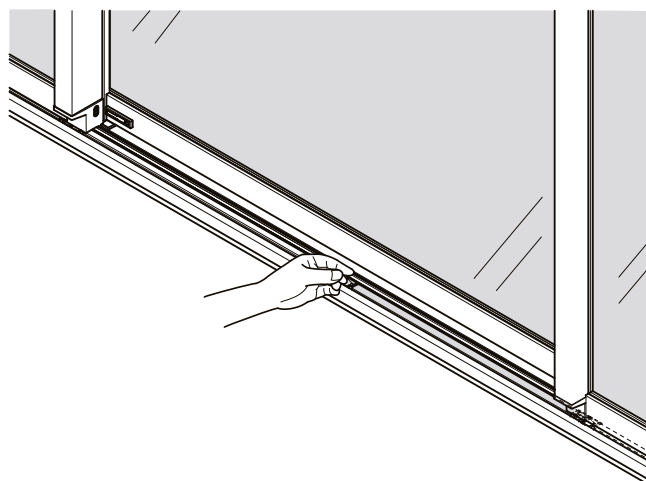
■取外し手順



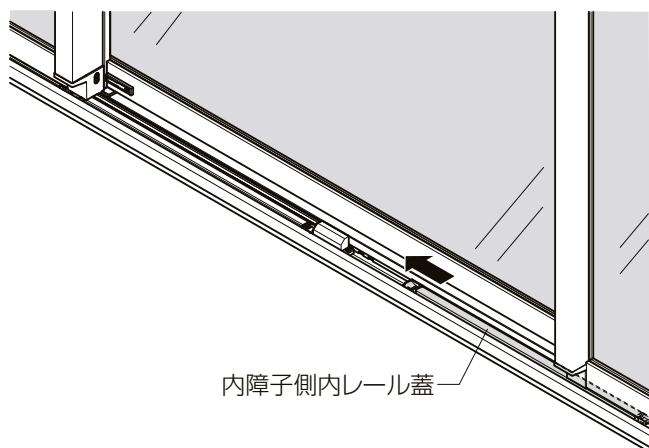
①図のように外障子側の内レール蓋を持って、上に持ち上げながらスライドして外してください(A部)。

●内レール蓋を持ち上げます。

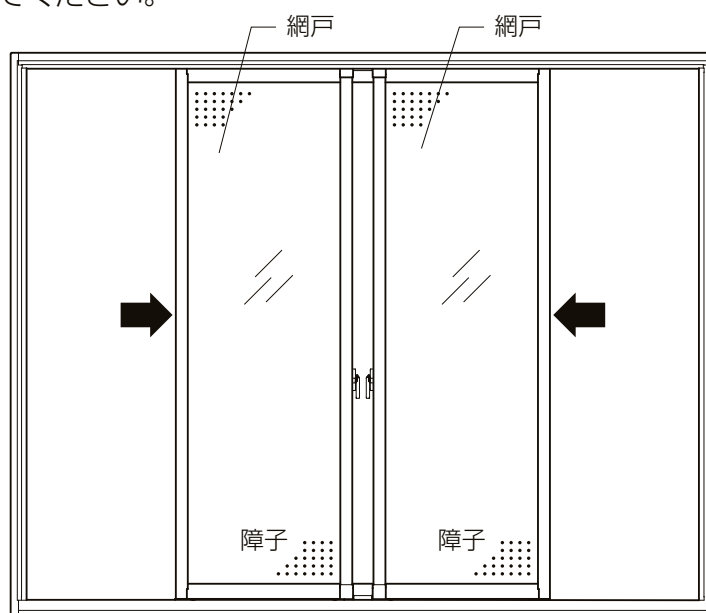
●HK用ストッパー側にスライドさせながら外します。



②内障子側の内レール蓋は中央にスライドさせて同様に外します(B部)。



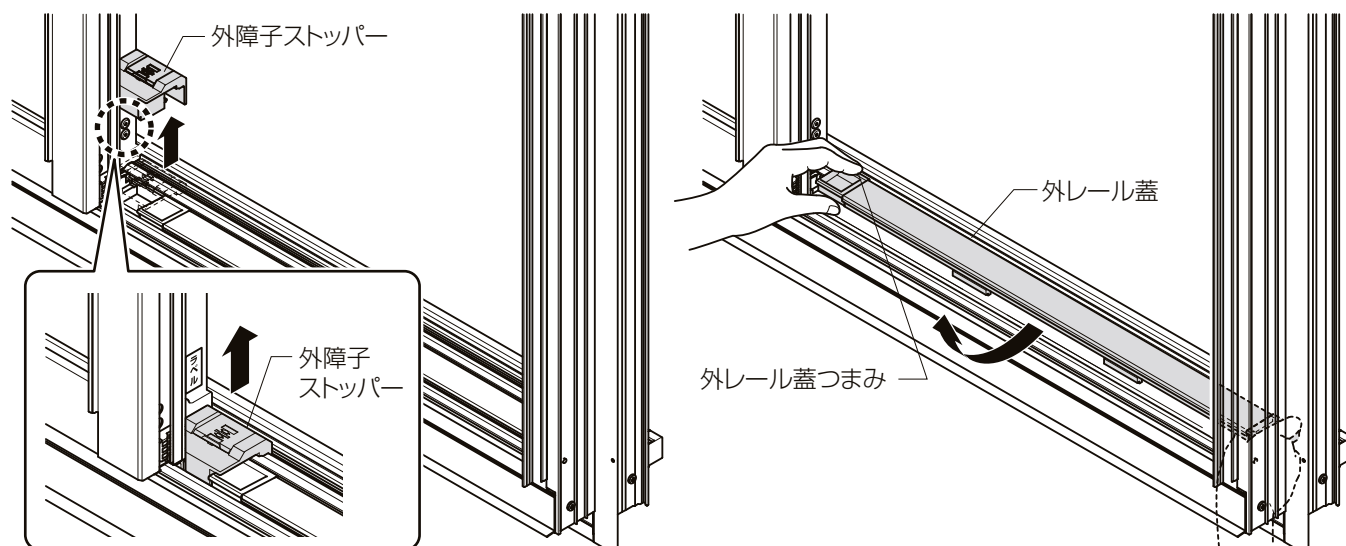
③内障子を全開にしてください。



④図のように外障子ストッパーを外してから、外レール蓋つまみを持って、上に持ち上げながら手前に引いて外してください(C部)。

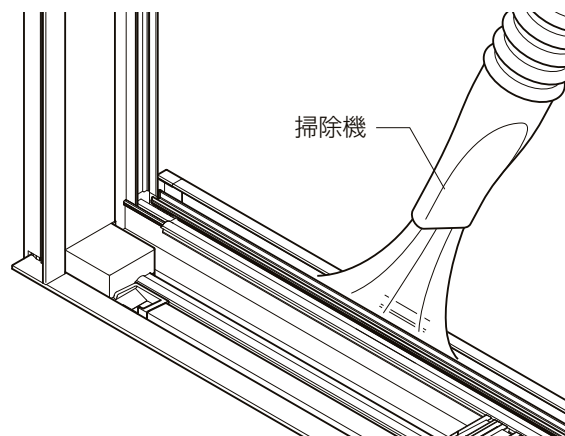
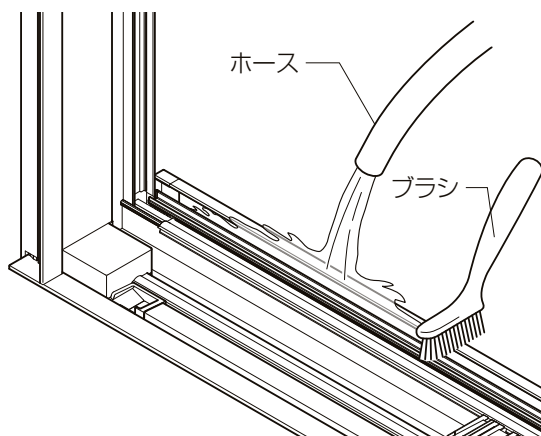
※外障子ストッパーの外し方は、縦部材に貼付のラベルをご確認ください。

※外障子の下の外レール蓋は外せません。



⑤もう片方の内レール蓋・外レール蓋も同様に外してください。

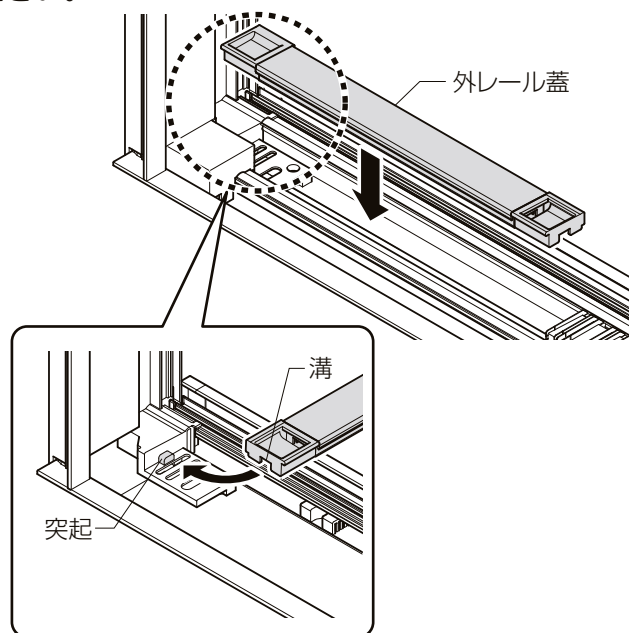
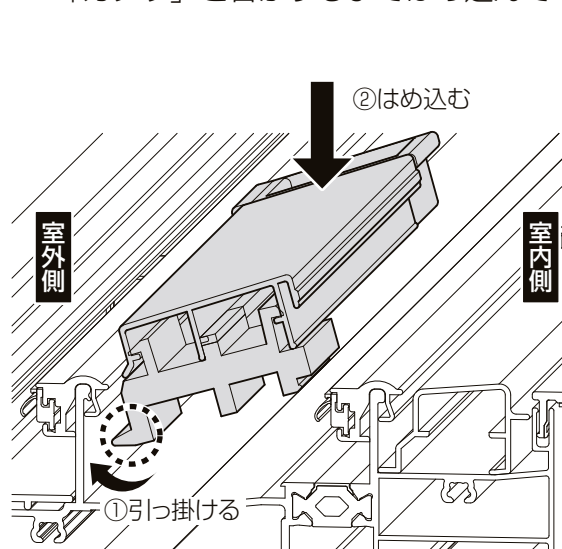
⑥水やブラシで洗い流すか、掃除機で吸込み、下枠の中のゴミやホコリを取り除いてください。



⑦外したレール蓋を外した手順と逆の手順で取付けてください。

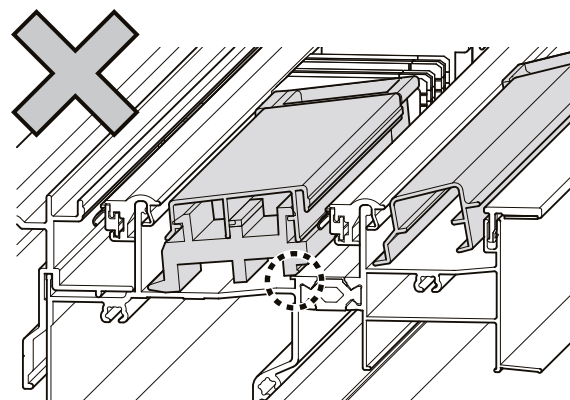
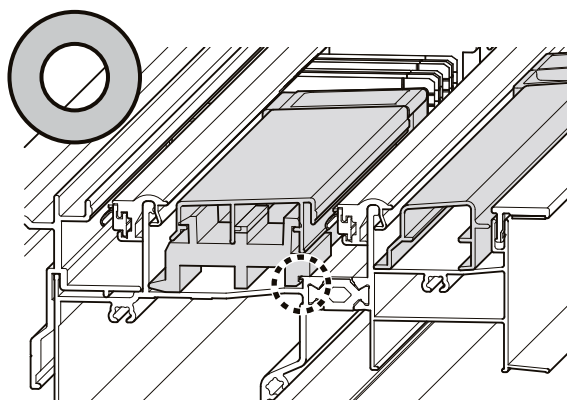
・外レール蓋の向きを間違えないように取付けてください。

※「カチッ」と音がするまではめ込んでください。



お願い

●レール蓋を取付ける際は、段差のないようにしてください。開閉時に支障が出ます。

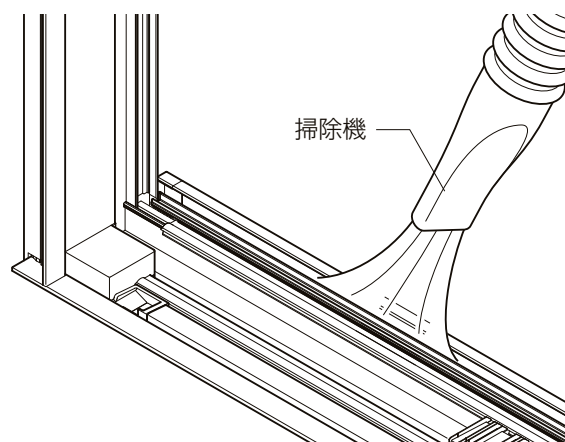
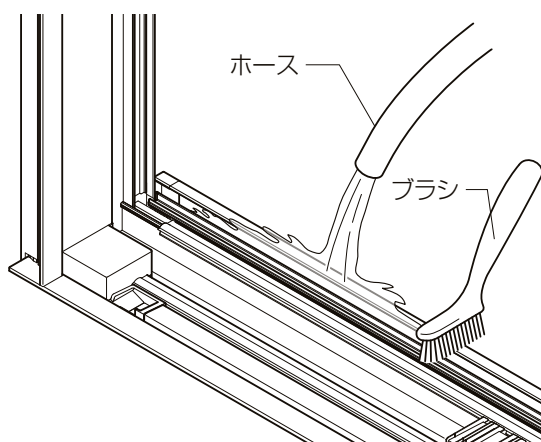


4

網戸レール、溝の場合

①網戸を取り外します。

②水やブラシで洗い流すか、掃除機で吸込み、下枠の中のゴミやホコリを取り除いてください。



③網戸を取付けてください。

サッシのお手入れ方法

定期的なお手入れが、長持ちのひけつです。

- LIXILの商品は、アルミニウムのほか、鋼板、樹脂、木などによって構成されています。いつまでも美しくお使いいただくためには、それぞれの性質に応じた方法で、定期的なお手入れが必要です。
- TW WOODのお手入れは、『TW WOOD 取扱い説明書』をご参照ください。

1

アルミ製品

■お掃除はなるべくマメに

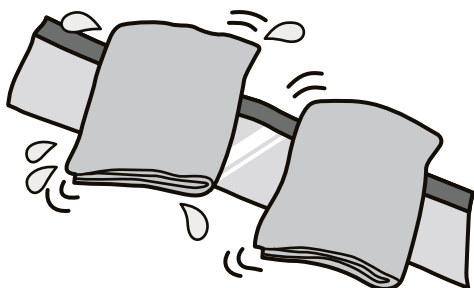
- アルミは比較的腐食しにくい材質ですが、それでも砂、ホコリ、塩分などが付いたまま長い間放置しておくと、空気中の湿気や雨水の影響を受けて、腐食が発生する原因になります。

【お手入れ回数の最低限の目安】

お住まいの立地条件	お掃除回数
臨海工業地帯	1年に1～2回
海岸の近く、または工業地帯	1年に1回程度
市街地	1年か2年に1回
田園地帯	2年に1回程度

■汚れが軽い場合

- 水にぬらしたぞうきんで汚れを拭き取り、から拭きをします。



■汚れがひどい場合

- ①まず水でぬらしたぞうきんで全体を拭き、表面に付いたホコリ、砂などを取り除きます。
- ②特に汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、そのあと洗剤が残らないようによく拭き取ってください。



- ③最後に全体をから拭きします

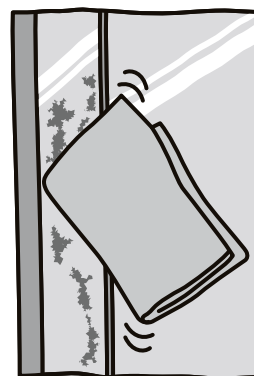
■金属タワシは使用しないでください

- アルミニウムの表面はキズ付きやすいので、お掃除の際には柔らかいスポンジや布などを使い、金属タワシや金べらは避けてください。また、洗剤は、必ず中性洗剤をご使用ください。中性洗剤では取れない場合は、アルコールかベンジンに布に染みこませて拭いてください。他の有機溶剤は使用しないでください。



■万一、サビが出たときは

- サビに気づいたら、すぐにお手入れをしてください。まず中性洗剤をつけたナイロンタワシ、または目の細かい紙ヤスリで軽くこすり、サビや汚れを取り除きます。そのあと水拭きし、塗料のはげた部分にスプレー塗料を吹き付けてください。



※ツヤありのブロンズ・ホワイト以外の製品については、ワックスがけされないようお願いします。

2

樹脂製品

■お手入れはなるべくこまめに

- 樹脂は、アルミニウムなど他の材質と比べるとキズ付きやすい性質があります。レール部分にたまった砂やゴミをそのままにして使用を続けると、キズの原因となりますので、なるべくこまめなお手入れをおすすめします。

■お手入れは布やスポンジで

- キズを避けるため、布やスポンジのような柔らかいものを使い、金属ブラシや金ペラは使用しないようにしてください。

■ベンジンやシンナーは避けてください

- 樹脂は酸、アルカリに強い特性を持っていますが、ベンジン、ガソリン、エーテル、アセトン、シンナーなど有機溶剤は使用しないようにしてください。

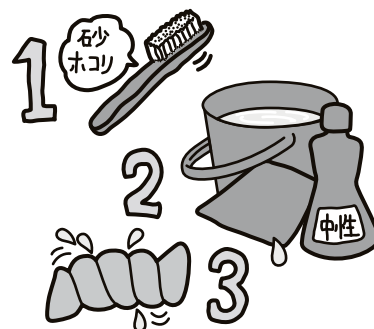


■薬品に対して

- 塩素系薬品（次亜鉛素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）がサッシに付着したまま放置された場合、表面が変化することがあります。付着した場合は速やかに洗い落としてください。

■清掃の仕方

- ①表面に付いた砂やホコリを丁寧に除去します。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。
 - ②水でぬらしたぞうきんで、全体の汚れを拭き取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤、アルカリ性洗剤を薄めた液で落とし、そのあと水洗いします。
 - ③最後にかたく絞ったぞうきんで全体を拭きます。
- ※洗剤で落ちない汚れやキズは、自動車用ワックスで磨くと取れます。

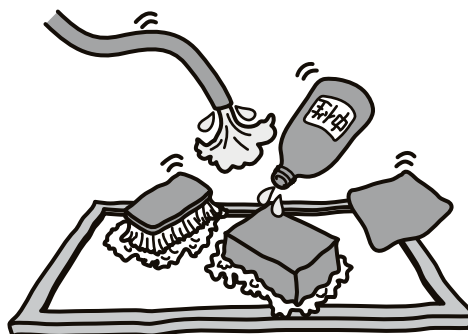


3

網戸

■必ず外して水洗いを

- 網戸をお掃除するときはレールから外し、網を張ってある側を下にして床に置き、柔らかいスポンジ、またはブラシなどで水洗いしてください。
- 網の張ってある側を上にしたり立てかけのまま洗うと、網が押されて、緩んだり破れるおそれがあります。
- 網戸の枠の部分は、アルミのお手入れと同じ要領で行ってください。



商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において、お客様がお買い求めの建築会社、工務店、施工店又は販売店（以下「取扱店」といいます）にご相談いただいた場合に、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、これによりお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間中、製品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お買い求めの取扱店にご相談ください。お買い求めの取扱店へご相談出来ない場合には、当社商品相談窓口までご相談ください。

■対象商品 サッシ・ドア商品

■保証期間 施工者よりの引き渡し日（注 1・注 2）から 2 年間（電装部品については 1 年間）

注 1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注 2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品（同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る）からの雨水浸入については10年間とします。

■保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまるありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■免責事項 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）
- ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
（例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など）
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗、キズ、木製品のささくれ、ヒビ割れなど）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
（例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、寸法変化、腐れ、節・材料の継ぎ目・木目などによる塗装のノリの違い、樹液・ヤニのにじみ出しなど）
- ⑧天災その他の不可抗力
（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合やクイムシ、シロアリなどによる虫害
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
（例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合）
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問合わせください。

※次のような消耗部品については、雨水侵入に伴う 10 年間の保証期間中であっても有料となります。（当社の不具合を除く）
ガラス押えゴム（グレチャン、ビード、ガラスパッキンなど）、気密部品（気密材、気密パッキン、気密ピースなど）、モヘヤ、風止め板、はすれ止め、振れ止め、カバー材、戸当り部品（戸当りパッキン、戸当りキャップなど）、戸車、操作つまみ、排水部品、排煙窓のワイヤー、網戸の網、網押さえゴムなどの合成樹脂部品

※ BL 認定商品については別途定められた保証期間・保証内容・免責事項によります。

※本商品保証は、日本国内においてのみ有効です。

2025 年 4 月

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

交換用部品については、リクシルストアまで

お客さまご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL公式通販サイトよりご注文ください。

■リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>

リクシルストアに掲載のない部品につきましては、お買い求めの取扱い店または

当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001 にご連絡ください。

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAN-128C	事業所コード BLF1	2026.4.20発行
---------------	-------------	-------------

